

令和5年度

第38回東京都精神障害者スポーツ交流祭競技ルール（案）

< 特別部門 （スタッフ・ボランティアが同時に2名までコート上にいることができます） >

【召集について】

1. 各チームは試合進行が早く進むことがあるので2試合前に集合し、コート脇で待機して下さい。スムーズな進行にご協力いただくよう参加チームの皆様をお願いいたします。

[監督]

- 試合終了後、試合結果票にサインをして頂きます。速やかにコート担当席へお越し下さい。

[キャプテン]

- 2試合前になりましたら、所定の待機場所にチームを待機させて下さい。
- 1試合前になりましたら、速やかにコート担当席へお越し下さい。相手チームとのコート決めやゼッケンの受け渡しなどがあります。

※試合に遅刻した時（3分を超えた場合）は相手チームの不戦勝となります。監督・キャプテン・ラインジャッジの方は、試合進行状況にご留意下さい。

【チーム編成について】

1. 試合中コート内では、6人から8人でプレーできます、ただし必ず女性選手が1名以上コート上にいること。また職員・ボランティアはコート上に2名までいることができます。
2. 選手交代は、選手交代ゾーンに入って待機。副審、または主審の合図の後、交代する選手の番号を大きな声でコールしてください。
3. 選手交代は、1セット中に何回でもできます。
4. 選手交代に際しては、チーム構成を守ってください。
5. 監督は指定の名札を着用し、キャプテンはユニフォームを着ていても必ず指定の1番のビブスを着用。また出場するスタッフはスタッフビブスを着用して出場してください。

【競技方法について】

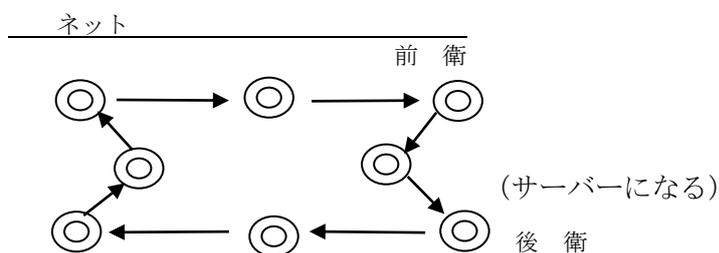
1. エンドラインに全員で並び、審判の指示により挨拶をした時点で試合開始になります。
2. 得点はラリーポイント方式とします。
3. 25点先取、1セットマッチです。デュースはありません。
制限時間 15分以内に多く得点したチームの勝ちとし、制限時間時に同点の場合には、1点先制したチームを勝ちとします。なお、優勝決定戦のみ時間制限を設けません。
4. サービスはエンドラインの後方より打たなければならない、その際にエンドラインを踏んではならない。
5. サービスがネットに触って相手コートに入った場合もプレーを続行します。
6. サービスは1回です。
7. サービスは、主審の合図に従って打って下さい。
8. サービスを、ダイレクトでアタックもしくはブロックして返すことはできません。
9. ダブルコンタクト（ドリブル）、キャッチ（ホールディング）、タッチネット、ペネストレーションフォルト（パッシングセンターライン）等の反則を取ります。
10. スタッフや、選手の人数の超過などの違反が発覚した場合には、その時点で最大マイナス12点のペナルティを課したうえで、試合を再開いたします。
11. 反則の判断は、主審に従ってください。

- 1 2. タイムアウトは、1 試合中に 1 回（30 秒以内）取ることができます。
- 1 3. タイムアウトをとる場合は、監督（またはキャプテン）が主審（または副審）に申し出て下さい。
- 1 4. 主審の指示があった場合は、速やかにプレーに戻って下さい。
- 1 5. ローテーションは、図の要領で行います。
- 1 6. ローテーションはサービス権を得たときに行います。

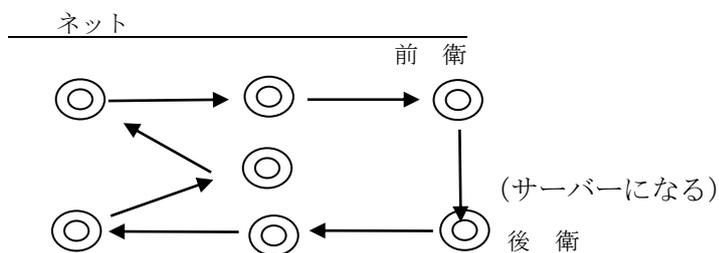
【その他】

1. ネットの高さは 2m です。コートは 9m×18m（6 人制コートと同じ大きさです。）
2. 今大会の公式ボールは、モルテン糸巻きボール（円周 78±1cm、重量 210±10g）を使用します。
3. バックアタックラインは設けませんので、バックプレーヤーもアタック、ブロックに参加できます。ただし、プレーが終わった際には、元のポジションに戻ることに。
4. 時間に関してはタイマーを使用し、厳密に時間を計ります。
5. 対戦相手との挨拶は、スタート時にはベンチの選手を含め全員でエンドラインに並んで挨拶をしますが、試合終了後はコートにいる選手のみで挨拶を行ってください。
6. 試合は審判の指示に従って行って下さい。
7. 予選順位は、勝敗と得失点差、または「じゃんけん」によって決定します。
8. 不戦勝は 25 対 13 とします。試合に遅刻した時には相手の不戦勝とします。
9. 「審判」は、渋谷区バレーボール協会が行います。
10. 応援は、試合の進行に影響を及ぼさないように配慮して下さい。（鳴り物は禁止）
11. ルールについては、日本バレーボール協会 6 人制競技規則に準拠します。

<8 人の場合のローテーション>



<7 人の場合のローテーション>



<6 人の場合のローテーション>

